



ぐりとぐら

なかがわりえこ おおむらゆりこ 福音館書店

オオム

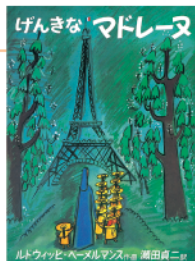
「このよでいちばんすきなのは、おりょうりすること、たべること、ぐりとぐらぐりとぐら」と歌いながら、森へ出かけたのねずみのぐりとぐら。大きな卵を見つけ、カステラを作ります。動物たちと一緒に食べるカステラが、とてもおいしそうです。

ぐるんぱのようちえん

西内ミナミ 作 堀内誠一 絵 福音館書店

ホリウ

ある日ぞうのぐるんぱは、森を出て働きに出ます。ところが、どこへ行ってもぐるんぱの作るものは大きすぎて、すぐにクビ。しょんぼりしているぐるんぱは、忙しいお母さんと12人のこどもにも会います。ぐるんぱと子どものふれあいや明るく描かれています。



げんきなマドレーヌ

ルドウィッヒ・ベームルマンズ 作・画 瀬田貞二 訳 福音館書店

ヘメル

パリのお屋敷に暮らす12人の女の子たち。ある晩、いちばんおちびさんのマドレーヌが盲腸炎で入院しました。お見舞いに行った11人が見たものは、おもちゃにキャンディーに人形の家、そしてお腹の傷！その晩……。

ごきげんならいおん

ルイーズ・ファティオ ぶん ロジャー・デュボアザン え むらおかはなこ やく 福音館書店

テユホ

動物園にいつもごきげんなライオンがいました。毎日、街の人たちがあいさつをしに来てくれます。ある朝、家の戸が開め忘れられているのに気づいたライオンは、自分から街の人たちにあいさつをしに出かけることにしました。



こすずめのぼうけん

ルース・エインズワース 作 石井桃子 訳 堀内誠一 画 福音館書店

ホリウ

飛び方のおけいこをしていたこすずめは、ひとりで世界中を見てこようと飛び立ちました。疲れてきたこすずめが、からすの巣で休もうとすると、かあかあと言えないのなら中に入れることはできないと断られてしまいます。

こねこのぴっち

ハンス・フィッシャー 文・絵 石井桃子 訳 岩波書店

フイツ

ぴっちは、他のこねこのように遊びません。ぜんぜん違うことをしたかったのです。おんどのりまねをしたり、やぎになろうとしたり、あひると一緒に泳ごうとしたり……。ところが大変！ぴっちは池に沈んでしまいました。



さるのせんせいとへびのかんごふさん

穂高順也 ぶん 荒井良二 え ビリケン出版

アライ

動物村に新しく病院ができました。お医者さんはさるの先生、看護婦さんはへびの看護婦さんです。二人の診察はちょっと変わっているのですが……。二人が仕事を交代した『へびのせんせいとさるのかんごふさん』もあります。

11匹きのねこ

馬場のぼる こくま社

ハハ

いつもお腹がべこべこの11匹ののらねこ。大きな魚を探しに、山のむこうの湖に出かけました。11匹はいかだを作り、大きな湖に乗り出します。大きな魚は見つかるのでしょうか。シリーズはどれも人気があります。



14ひきのおつきみ

いわむらかずお さく 童心社

イワム

14匹の家族は力をあわせ、高い木の上にお月見台を作りました。やがて夕日が沈み、夜が広がっていきます。おだんごや栗の実、どんぐりをそなえて……。お月さんがのぼってきました。シリーズは、11冊出ています。



しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男 さく 山本忠敬 え 福音館書店

ヤマモ

消防署のみすまっくに、ちびっこ消防車のじぶたがいました。「ぼくだって大きなビルの火事が消せるのに」と、じぶたは悲しくなりました。そのとき、山小屋が火事だという電話が。さあ、小さいじぶたの出番です！



ちょっとひとやすみ ⑤

ハラハラドキドキのお話は、子どもたちみんなが大好きです。怖いお話も、自分を守ってくれるお父さんやお母さんの膝の上なら大丈夫。思い切り冒険を楽しんで、最後は自分を守ってくれる、**親という最も安全な場所**に帰ってくるができるからです。

